職員の勤務労働条件について（小委員会交渉）

令和6年5月29日（水）

局側：環境局総務部職員課長他

組合側：大阪市従業員労働組合環境事業支部 書記長

（局側）

2025大阪・関西万博の開催にあたり、「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現という開催理念に照らし、令和7年1月から市内全域での路上喫煙禁止に向け、取組を進めている。

現在、ルシナス庁舎の拠点を含め5か所の拠点をベースとして指導体制を構築しているところであるが、配置している会計年度職員と再任用職員の勤務終了時間に差異が生じている。

より効率的な路上喫煙防止に係る啓発及び巡回指導業務を実施するため、令和6年6月1日から、再任用職員の勤務終了時間を会計年度職員に合わせることをしたいので、協議をお願いしたい。

（組合側）

路上喫煙防止に係る啓発及び巡回指導業務に従事する再任用職員の勤務時間の変更については、より効率的な業務が実施できると考えられることから、承知した。

5か所の業務拠点のうち、電話回線等、設備が整っていない拠点もあるようだが、現在、9月からの稼働に向けて準備を進めている南東ブロック（中部環境事業センター内）と合わせて整備を進めるよう要請しておく。

（局側）

承知した。職員が安心して業務に専念できるよう、事務所設備等の整備を進めたいと考えているので、ご理解とご協力をお願いしたい。